

2007 名古屋：堀川未来名所図会(案)

宮宿の再生の巻

NPO法人
堀川まちネット

★宮宿の再生

昔、旧東海道の要所として、宮宿がありました。当時は桑名までの七里の渡しや熱田天王祭などの賑わいの祭りもありました。NPO法人などが地域再生のため、七里の渡し航路の復活や地元町内会と協力して熱田大山の復活に取り組んだ。

★祭りとまちづくり

祭りとまちづくりの活動を発展させ、七里の渡し～熱田神宮までの道が復活。観光としての再生をしている。分離帯でふさがれた道を復活し、観光や旧東海道のウォーキングで訪れた人たちが熱田境界の歴史や文化を知ってもらうため、ミニ博物館を併設した観光案内所の開設や観光広場で楽しむ。

宮道の復活

大山展示館

旧東海道の再生

宮道に掛かる橋

★宮宿の観光広場

将来的には、名古屋の観光拠点として、文化財建物の整備と祭り広場を併設。堀川の渡し舟を開設し、対岸の堀川自然観察路や水辺で楽しめる船遊覧の観光施設を誘致して、環境を考えた都市景観です。

★観光と防災

堀川の堀川再生と観光のキーポイントは宮の渡し(七里の渡し)。

この場所は桑名や笠寺・鳴海・有松など旧東海道のネットワークや海上観光の拠点になる場所である。

また、堀川は災害時の緊急輸送ルートとして重要な役割が期待されています。

堀川まつりや河川調査などのネットワークを通して防災時の輸送路を確保できる堀川の防災マリーナが開設され、防災とまちづくり活動が行われようとしている。

観光広場

宮の渡し案内門

ビオトープ化

熱田大山の復活

宮の渡し

防災マリーナ

堀川自然観察路
と
対岸の観光施設

イラスト

